

奈良県立大学研究季報 第31巻
(地域創造学研究47・48・49・50)

総目次

第31巻第1号(地域創造学研究47)

[論文]

簡易課税制度による益税の推計と要因

—『中小企業実態基本調査』を用いた実証分析— 下山 朗

[研究ノート]

住宅・福祉部局等の連携による自治体居住政策(3)

—自治体・居住支援機関等インタビュー調査結果— 佐藤 由美

第31巻第2号(地域創造学研究48)

巻頭言

学長 浅田 尚紀

伊藤忠通先生略歴

伊藤忠通先生著作目録

[論文]

地域の価値共創における中間支援組織の意義と役割

—石垣市の移住・定住支援— 大和 里美

[研究ノート]

近世近代月ヶ瀬の梅林空間の変化について

水谷 知生

消費税増税に伴う納税協力費と外部費用

下山 朗

[調査研究]

グローバル時代におけるアフリカ美術の自文化展示に関する考察

—第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展ケニア館展示の

視察を通して—

西尾 美也

[研究資料]

経済地理学におけるサービス業の扱い

—大学における初年次教育成果物の紹介—

小松原 尚

第31巻第3号（地域創造学研究49）

[論文]

バングラデシュにおける観光の動向

—観光行動に関する質問紙調査より—

中谷 哲 弥

市民による、省エネ・節電／CO2排出ゼロを実現する方策

—国内初の「市民省エネ・節電所」活動—

村 木 正 義

「隣組」の廃止と復活をめぐる言説—1945-1955年の新聞記事から—

梅 田 直 美

Initiatives in Developing Community-Based Tourism in Madurawala,

Sri Lanka: Benefits, Issues and Recommendations RANASINGHE Nirmala

里見岸雄の社会改造思想

—戦前・戦後の連続性に着目して—

林 尚 之

第31巻第4号（地域創造学研究50）

特集 撤退的知性の探究—「撤退学」の確立に向けて

巻頭言 撤退的知性の探究—「撤退学」の確立に向けて

堀 田 新五郎

[マニフェスト]

撤退学宣言Ⅰ（問題編）

—ホモ・サピエンスよ、その名に値するまであと一歩だ

堀 田 新五郎

[論文]

撤退する都市の創造性に関する一考察
—創造都市論の批判的検討から—

松岡慧祐

特集内小特集 "新しい働き方と組織に関する当事者研究ノート
—現場から展望する仕事・組織・社会—"

[研究ノート]

序：何故、今、働き方を問うのか？
働き方の変遷を辿る当事者研究ノートと、SeeingとDoingのメタ考察

玉城毅

田幡祐斤

複業活動を通じた「働く」ことの捉え直し

佐藤隆

単所属から無所属、そして多所属へ

玉城麦野

越境経験を通じた自己認識の再定義

松井健太郎

日本的な自律分散型組織の可能性と懸念に関する考察

山田裕嗣

ポスト資本主義社会に向けた実践と考察

武井浩三

あとがき：「全体的個人」は、環境を内包して止揚し、
未来の生き方を創造する

田原真人